

科目番号	50001	分類	共通科目	履修者	看護学研究科（共通科目）	学年	1	
科目名	医療倫理特論 (Bioethics in Medical care)					1		
						配当シスター 前期		
担当者	〇今井秀樹、穴沢小百合、矢野尊啓		区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
<p>【概要】 専門職とは何かを見つめ直しながら、法的規範と倫理的規範にもとづく看護職の倫理について理解を深め、高度な実践やスキルミックスの展開においてケアリング、アドボカシー、協働、責務遂行および研究実施などの倫理の原則の考え方を構築して望めるようにする。チーム医療の推進には、組織内での専門性、対等性が必要である。常に患者志向で考え、実践における倫理的意思決定能力を高められるようにするとともに実践・研究にかかわる医師法、刑法、保助看法などの看護関係の法令への理解を深める。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護に関する制度や理論を学び、専門職についての考えを明確にする。 看護専門職としての倫理の原則を自らの経験から振り返り、遵守の必要性を確認する。 看護専門職としての意志決定のための判断基準を明確にするための方法を学ぶ。 						○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力	
						○	2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力	
							3. 女性の生涯わたる健康を支援できる能力	
							4. 周産期の救急時に対応できる能力	
						○	5. 多職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6. 研究・開発能力	
						○	7. 倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	＜医療倫理の理論／ケアの質保証の理論＞						今井	
第2回	ガイダンス、研究倫理とは							
第3回	医療倫理の基本とアウトカム評価の理論と方法						矢野	
第4・5回	医療行為と看護行為における倫理的意思決定及びアウトカム評価							
第6回	倫理の概念と理論						穴沢	
第7・8回	授業で提示されたテーマについてグループごとに1つ選定する。							
第9回	倫理的意思決定の実際						今井、穴沢	
第10回	グループごとに検討							
第11回	倫理的意思決定の実際						矢野	
第12回	プレゼンテーションと討議							
事前・事後学習	事前学習：倫理の参考図書で各回該当する部分を読んでくる。(2時間) 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。(1時間)							
評価の方法	授業への参加及び学習状況(20%)、課題学習の内容(資料・プレゼンテーション20%)、筆記試験、課題レポート及び観察評価(60%)にて総合的に評価する。 フィードバックはプレゼンテーション時の総評とする。							
参考図書・資料等	適宜紹介する。							
備 考	授業は講義及びグループごとのプレゼンテーションにより構成される。授業終了後課題レポートによって自己の考えを論述する。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							